

## 第 11 章 ワークシート

日付\_\_\_\_\_ 番号\_\_\_\_\_ 氏名\_\_\_\_\_

### ■課題 2

図 1 の例を参考に、「風邪で期末試験を受験できないことを先生に伝え、追試やレポートで単位をもらえるよう交渉する」というタスクを用いた地域日本語教室での授業展開例を考えましょう。

#### クラス概要：

公民館で開催されている生活のための日本語を学べる教室。近くに大学があるため、大学に通う留学生が多く通う。地域住民がボランティアで支援員として携わり、会話練習などのコミュニケーション活動に参加している。

#### 詳細：

- ・ あなたはこの教室の日本語教師です。
- ・ クラスには日本語教師のほか、地域住民 7 名がボランティアで支援員として参加しています。支援員の主な役割は、学習者の会話練習の相手です。日本語教育の専門的な知識はありませんが、学習者との会話や交流を楽しんでいます。
- ・ 学習者は 7 名です。学習者の出身は、中国 2 名、韓国 1 名、アメリカ 1 名、マレーシア 1 名、シリア 1 名、ドイツ 1 名です。全員が近所の大学に通う学生で、来日して半年ほどが経っています。
- ・ 学習者のレベルは中級程度です。日常的に遭遇する機会が多い会話や文章は、ある程度、理解したり産出したりすることができます。ただし、日本語独特の言い回しや表現などは、まだあまり知りません。
- ・ 学習者の多くが、「毎日の生活や大学生活をスムーズに送るために必要な表現を学びたい」「もっと日本語を学んだり、使ったりする機会が欲しい」と思ってこの教室に通っています。学習者にとってこの教室は、支援員の方と交流したり、地域の情報を得たり、1 対 1 で日本語の練習をしたりできる大切な場所です。

**タスク：**風邪で期末試験を受験できないことを先生に伝え、追試やレポートで単位をもらえるよう交渉する

①プレ・タスク

②メイン・タスク

③フィードバック（フォーカス・オン・フォーム）